

2026 年度
埼玉地区主題

一致と連帯、
福音の前進に仕える

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2026 年 10 月 5 日

発行人
日本基督教団 関東教区 埼玉地区委員会
委員長 栗原 清
入間市河原町 8-6
<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~saitama/>
印刷所 (株)シャローム

地 区 総 会

埼玉地区委員会

2026 年度埼玉地区総会は、3 月 20 日(金・休)、武蔵豊岡教会を会場に、議員 116 名中 86 名の出席を得て開催された。総会はず、開会礼拝から始められた。加藤久幸先生(所沢みくに)がテサロニケの信徒への手紙 1 章 1-10 節より、「教会へのメッセージ」との題で説教をされた。



総会議長は、栗原地区委員長が務められた。関東教区より、問安師として田中かおる牧師(教区副議長・安行)が、宣教部より稲益久仁子牧師(埼玉大通り)が挨拶をされた。

(1) 2025 年度地区諸報告は、栗原地区委員長より、日野原記念上尾栄光教会が教団を離脱した旨が報告されたほか、各報告者からポイントを擧げて報告された。牧師減少に伴う取り組み、活動休止中の社会委員会の活動再開についてなど、何点かの質問や要望が出された。栗原地区委員長ほか、担当者が返答した。ま

た、地区会計決算報告及び会計監査報告がなされ、質疑応答後、賛成多数で承認された。

(2) 地区委員長選挙

栗原清(武蔵豊岡)が再選された。

(3) 地区委員選挙

教師は、指方周平(東所沢・再)、平澤昇(埼玉新生・新)、渡邊典子(三芳・新)が選出。信徒は五十嵐征利(草加・新)、古澤ひかる(越谷・再)が選出された。任期継続中の委員は、教師は武田真治(上尾合同)、正田義也(本庄)、横山基生(志木)。信徒は金刺泰雄(上尾合同)、前田信一(大宮)。以上、栗原地区委員長ほか 10 名よって、新年度の地区委員会が発足された。なお、教師の澁谷弘祐委員(久美愛)と町田さとみ委員(初雁)、信徒のグラハム里美委員(聖学院)は 2 期 4 年を満了した。

(4) 2026 年度宣教活動計画について

地区主題は「一致と連帯、福音の前進に仕える」、聖句はフィリピの信徒への手紙 1 章 12-14 節を掲げられた。ここでは聖句として、殊に「兄弟たち、わたしの身に起こったことが、かえって福音の前進に役立ったと知って欲しい……主に結ばれた兄弟たちの中で多くのものが、わたしの捕らわれているのを見て確信を得、

恐れることなくますます勇敢に、御言葉を語るようになったのです」を記載することとする。

以上の聖句を朗読した後、栗原地区委員長より、活動計画について、以下の 3 つの点から提起され、賛成多数で可決された。①地区の健全な成長は、正しい福音宣教・伝道における、福音信仰の健全さによること。②正しい福音とは、主イエス・キリストの福音であること。③日本基督教団信仰告白を告白し、教憲教規に則った教会形成を祈り、埼玉地区規則第 2 条に規定される「一致と連帯、福音の前進に仕える」ことで、主の宣教と働きの恵みを担い合う。

(5) 議案第 7 号・2025 年度予算について、会計の澁谷弘祐委員より説明を受け、賛成多数で可決された。

(6) 議案第 8 号・地区会計監査委員選出、第 9 号・地区総会議事録確認、第 10 号・次回地区総会会場及び日程について、地区委員会に付託することが賛成多数で可決された。

総会の最後には、2025 年度に地区内教会に赴任した教師の紹介、この 3 月末で辞任・隠退する教師からの挨拶をいただき、武田真治牧師の閉会祈禱をもって閉会した。

最後に、会場教会の荷を負ってくださった武蔵豊岡教会の栗原清先生をはじめ教会員の皆さまに、心から感謝を申し上げます。

(埼玉地区前書記)

にね

先日、教会にて、信徒の葬送式が執り行われた。半

世紀以上主に仕えて歩みつつ、教会内外でキリストの愛を届けておられた兄弟であった。当日は多くの人々が訪れ、予め用意していた 60 部の式次第が足りなくなってしまう。教会員はもちろんのこと、かつての教会学校の子どもたちや、附属幼稚園の職員、地域で交流があった人など、実に多くの人たちが兄弟の葬送式に集った。それは、長い年月のなかでキリストの香りを纏い、主の証人として生きたことを示していた。その結果、長らく教会から足を遠のいていた人や、教会に足を踏み入れたことのなかった人までもが、主の御許に集ったのである。

キリスト教の葬送式が礼拝として執り行われることについて、改めて考えさせられた。その日、兄弟は多くの人々を礼拝に招くために用いられたのである。それが、信仰を与えられ、生かされている者の、地上における最後の使命であるように思われた。キリストを指し示す者として生かされ、主によって用いられる生涯。そんな敬愛する兄弟の生きざまに触れて、襟を正される思いがした。

(清水義尋)

新任教師就任挨拶

東大宮教会 上田真由美



私は広島出身です。看護師から献身し、東京神学大学へ入りました。最初の任地は富士見町教会(東京、3年)、次は泉ヶ丘教会(大阪、9年)、そしてこの4月から東大宮教会に遣わされました。食べること、音楽、猫と犬、「赤毛のアン」が好きです。

非常にもろく欠け多い器が、主の恵みを盛ってその溢れるばかりの恵みの中で立ち上がられ、用いられて生きて行ける驚きと喜び、幸いというものを年々感じています。この度の埼玉地区の教会への召しに、驚きもありましたが、主の恵みを豊かに受けていくならばきつとなんとか大丈夫との思いで、「はい」とお応えしました。

お支えと良きお交わりをどうぞよろしくお願いいたします。

所沢みくに教会 小手川 到^い



所沢の地で福音を語る喜びを感じています。

北本教会 柳田 洋夫^{ひろお}



私は子どもの頃に、西千葉教会の教会学校で信仰の種が蒔かれました。不思議な聖霊の導きにより、人生の節目には、いつも教団の教会が備えられました。国分寺教会で結婚式を挙げ、小金井緑町教会で信仰を育み、霊南坂教会の祈禱会で求道し、47才のときに献身を決心して三鷹教会で洗礼を授かりました。数カ月後、25年間勤めた宇宙事業の会社を退職しました。10年続けた少年野球のコーチも辞め、翌年農村伝道神学校に入学、神と人と土に仕える神学を学びました。永山教会(西東京)で9年間お仕えした後、

慰めと喜びに満ちた所沢みくに教会に招かれました。先日、教会員の方々と八国山緑地のハイキングを楽しみました。また牧会の傍ら、自然豊かな神学校の畑を借りて農作業にも汗を流しています。どうぞ宜しく願います。

このたび北本教会に遣わされました柳田洋夫と申します。これまで、柿ノ木坂教会で副牧師として仕え、聖学院大学の教員・チャプレンとして学校伝道に携わってきましたが、主任担任として教会に仕えるのは初めてのことです。

6月14日の就任式には、多くの皆様にお越しいただいて祝福に満ちた時とされ、心より感謝申し上げます。地区の強い絆が感じられ、たいへん心強く思っております。

ほぼ還暦の身ではありませんが、教会ではまだまだ駆け出しの若手であります。「キリスト者は永遠の初心者である」という言葉を改めて思い起こす日々でもあります。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」(一テサ5:16-18)という、今年度の北本教会の基本聖句として与えられた御言葉を胸に、伝道に励んでいきたいと思います。

埼玉地区 2026年度の歩み

埼玉地区委員長 栗原 清
(武蔵豊岡教会)

埼玉地区では今年度新たに、東大宮教会に上田真由美先生、北本教会には柳田洋夫先生、所沢みくに教会に小手川到先生を迎えました。埼玉地区はこの数年、新しい先生方の着任でだいぶ顔ぶれが変わり、新たな埼玉地区に大いに期待しています。

2026年度の計画は、教育委員会主催でユース・ワンデイクャンプを8月に、CS生徒大会を10月に行う計画です。

教師委員会は9月14日(月)、15日(火)に教師研修会を深谷教会で行います。講師は東京神学大学の小泉健教授をお招きして、「説教」について講演をいただきます。また、毎年1月第2週の「地区デー」に合わせた、地区内の講壇交換礼拝を行っています。

青年部は毎年8月「お泊り会」を予定し、年間を通して「青年の集い」を計画しています。

地区婦人部と壮年部は、それ



ぞれに自主活動で総会を行い、「婦人部全体研修会」は6月6日(土)、大宮教会で開催されました。秋頃に、より婦人研修会を各ブロック単位で行う予定です。壮年会は年に一度の研修会を今年も計画されています。

地区委員会主催の集会としては、これまで社会委員会が担っていた「平和を求める8・15集会」を8月15日(土)、埼玉新生教会で開催します。イスラエル軍の元空軍パイロットを目標としたダニー・ネフセタイ氏を講師としてお招きします。ダニー氏は退役した後、世界中を巡った末に日本の秩父市にたどり着いて、平和の概念が根底から覆ったそうです。ダニー氏のお話を楽しみます。また、来年2月11日(木)午後「信教の自由と平和を求める2・11集会」の開催を予定しています。埼玉地区全体で集う「新年合同礼拝」を、この年は聖学院大学



のチャペルをお借りして、3つの最寄り区が合同で行う予定です。

その他、恒例のホームページ委員会主催の「IT祭り」、アーモンドの会の研修会や教会音楽委員会主催の「オルガニストの講習会」等、各々工夫をこらして活動することになっていきます。様々な集会などを通して、今年度の目標「一致と連帯、福音の前進に仕える」(フィリピ1:12-14)埼玉地区を、共に形作って参ります。

(この原稿は7月に書いたものです)

新地区委員挨拶

東所沢教会 指方 周平



3月の埼玉地区総会で地区委員に再選された指方です。2012年4月に東所沢教会牧師に就任して、今年で15年目に入りました。埼玉地区における在籍年数は長くなってきましたが、地区58教会・伝道所のうち、行ったことのない教会はまだ半数もあります。埼玉地区のことで分からないことも、やっているうちに分かるようになっていこうと思ってきましたもの、分からないままのことは今も多く、分かったつもりでいたことも分からなくなったりと、非常に心もとない限りです。そんな自分が地区委員に選ばれてしまい、さらに書記の重責を担うことになってしまつて、自分はもちろん埼玉地区は大丈夫だろうかと心配になります。だからこそ皆様のお祈りが必要です。どうか埼玉地区のため、そして主の僕のためお祈りくださいますよう、よろしくお願ひします。

埼玉新生教会 平澤 昇



埼玉地区に2022年赴任し、今年で5年目を迎えます。今まで、東京教区、東海教区、奥羽教区と歩んで来ましたが、今年、牧会40年目になります。そんな中、地区委員に選ばれました。埼玉地区の教会数は、奥羽教区の教会数とほぼ同じですので、地区委員の働きは大切な働きになります。

地区の活動は3区に分けられ、個々の教会の歴史・伝統、大きさや付帯施設の有無など、違いがありますが、互いに理解を深めつつ、協力することが大切です。

特に2000年以降の教会活動低下の原因を考えると、カルト教団の影響や、SDGsで示されている世界共通課題に対して、教会はどう向き合い、関わるのかが問われています。祈り豊かな地区活動に協力し、互いに支え合えたらと願ひます。

三芳教会 渡邊 典子



御名を讃えます。地区委員に選出されて驚きつつも、主の思召しと受け止めております。諸事情を経て5年前に三芳教会へ遣わされ、2年目に教師委員を担い、3年間は委員長をつとめさせていただきました。教師委員会の繋がりの中で、地区教会・伝道所の様子を知り合い、互いに励まし合えましたこと(励まされていたほうが多いですが)は、大きな恵みでした。

教師になるにあたり主から召されたことは、「救いをもたらす福音を宣べ伝えなさい」ということでした。常に、救いとは福音とは何かを考えさせられています。人の数だけ、思いや考え、環境も異なる中、地区に連なる方々が主を仰ぎ見、主にある愛と命、希望と喜びを抱いて歩み、キリストを指し示していくことを望みつつ、地区のお働きに参与してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

越谷教会 古澤ひかる



地区委員2期目を務めることになりました。これまで地区委員会において、またその繋がりから地区婦人部においても、多くの出会いがあったことを主に感謝いたします。

婦人部では、昨年度から地区委員としての陪席と委員会の書記を兼任しています。地区の諸教会から集まった委員の方々と共に力を合わせて、研修会の企画や、今後の課題についての話し合いを重ねています。

これまで訪れたことのない地区の教会に足を運ぶ機会も増え、家に閉じこもりがちの私の狭い世界が、大きく広がったことは恵みです。

足りないところは主が補って用いてくださることを信じ、祈りつつ、2期目も奉仕に努めたいと思います。



草加教会 五十嵐征利



浅学非才な信徒の身ですが、地区委員に選ばれ、伝道委員会担当の重責を拝命し、身が引き締まる思いです。諸先生方から深く学びつつ、主の御用に励む所存です。伝道とは、無限の愛を持つ創造主から新しい命と力を豊かに受けること。源泉である神様と心を繋ぎ、蛇口から注がれる命の水が私たちのコップから溢れ出る時、それは驚くべき爆発力となって周囲へ広がります。その聖なる力を大きな糧にして、教会と地域へ溢れる喜びを広げる御業と信じます。光に寄せられ人が自然と集う教会を目指し、草加教会の皆様と共に、まずは主の命をいただく事に集中したく存じます。不器用な私ですが、精一杯仕えますので、どうぞ皆様からの温かいご指導とご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。主の豊かな恵みが、埼玉地区の諸教会と皆様方の上に、これからも絶えることなく注がれ続けますように。

地区婦人部総会・ 全体研修会報告

地区婦人部委員長 中村百合子

4月18日(土)大宮教会での地区婦人部総会は、開会礼拝で、春日部教会の平澤巴恵先生の「キリストと共に」のメッセージをいただき、29教会・伝道所60名の参加を得て、感謝の内に開くことができました。

また6月6日(土)には、同じく大宮教会にて、全体研修会を開催できましたことも感謝です。開会礼拝では、和戸教会の佐藤さゆり先生から「キリストの平和に生きる」と題して説教をいただきました。25教会・伝道所から69名の参加でした。

また、アジア学院前校長の荒川朋子氏から「土からの平和」と題してエネルギーシッシーな講演をいただきました。

アジア学院は今年で創立54年になるそうです。これまで63ヶ国から1472名の卒業生を輩出しているそうです。

その設立は、第二次世界大戦の贖罪、特に東南アジアの農村部を侵略で踏みにじった贖罪として始められました。そして、50周年の時に新たな平和宣言として《土からの平和》を掲げられたそうです。



9ヶ月の農村指導者養成の柱の一つは《サーバント・リーダーシップ》が挙げられます。主イエスに倣って《仕える指導者》の養成を目指しています。

次に、アジア学院の造語である《フードライフ》が紹介されました。食物と生命が生活の中心であることを表して、フードとライフが一体となっているのがアジア学院の理念です。そして多文化共生の生活の中で《共に生きる》を学ぶことも大切な柱とのことです。

講演を聞きながら、私の脳裏に浮かんだのは、同じ《土からの平和》を志したあの中村哲医師でした！

平和を求める

8・15集会

東所沢教会 指方 周平

8月15日(土)に埼玉新生教会を会場に「埼玉地区2026平和を求める8・15集会」が開催されました。

講師にお迎えしたのは元イスラエル空軍兵で、現在は埼玉県皆野町で家具職人をされているダニー・ネフセタイさん。「どうして戦争しちゃいけないの?」— 気づき 戦争と人権 —と題して講演をしてくださいました。

幼少期から戦闘機のパイロットに憧れていたダニーさんは、パイロットになれなかった挫折を経て、兵器の本質が殺人と破壊だけであり、軍隊も差別や無条件の命令、殺人の正当化によって人間を鬼に変える仕組みであると気づかれたそうです。

中東情勢についてはイスラエルとパレスチナが「共に生きるか共に死ぬか」の選択を迫られていること、イスラエルに



よる占領や入植を、かつての日本の大陸開拓になぞらえ、過去の過ちから学ぶ重要性を強調されました。また「敵」という概念は教育や抑圧によって作られるものであり、「敵国」と教えられてきた人々と日本が出会い対話した経験から、彼らも自分たちと全く変わらぬ人間であると気づかれた経験を自分かちくださいました。

ダニーさんは日本国憲法第九条を「永久に」平和を守るための指針として高く評価しておられますが、一方で、日本の莫大な防衛予算(一秒間に約28万円)が教育や福祉を圧迫している現状に警鐘を鳴らされ、武力による抑止力の限界を指摘されました。

最後に、人権とは「幸せに生きる権利」であり、国籍を問わず全ての人が持つものであると力強く語られ、対話を諦めず、平和な世界を次世代に引き継ぐことが大人の責任であると強く訴えられて講演を締めくくられました。(参加28教会・伝道所、116人)



アジア学院学生

ホームステイ報告

ラムテューさんを迎えて

安行教会 久下 高生
裕子 恵喜 生喜

今年もアジア学院の研修生を受け入れることができ、心から感謝しています。安行教会全体でお迎えし、共に礼拝を守り、温かな雰囲気の中で愛餐会を持つことができました。愛餐会の後ラムテューさんのギターにより共に賛美をする事もできました。

その後は、有志の方々と様々な植物が見られる安行の万葉公園やお寺を案内しました。自然豊かな場所を巡ることができ、大変恵まれた時間でした。

さらに、教会員宅に伺い、アイスと麦茶を御馳走になりました。ラムテューさんを囲み、教会員と神の家族の輪が広がっていくのを感じ、とても嬉しく思いました。



ラムテューさんの出身地インド・ナガランドは近代まで閉ざされた地

域でしたが、キリスト教伝道によりほぼ100%の人がクリスチャンとなったことも印象的でした。

アジア学院と婦人会連合のお働きがますます豊かに祝福されますよう、心よりお祈り申し上げます。

アジア学院生ホームステイ
所沢みくに教会 高崎 和子



今年も2人の学生が我が家に来て来ました。カンボジアのシチャンさん、カメルーンのアトンバさん。アトンバさんは村で発生している豚熱について養豚家にとって不可欠な知識を学んでコミュニティの人々に伝えたいと。シチャンさんも農業の技術を習得して、リーダーシップを磨いてコミュニティがより良くなるようにしたいと、嬉々として熱い思いを語ってくれました。心から頑張れ頑張れとエールを送りました。彼らの学びが主に守られ実り多きものになるように祈っています。

教会紹介



川口教会創立100周年に感謝します。

川口教会 本間 一秀

2026年6月28日創立100周年に感謝して礼拝を献げ、祝会を行なうことが出来ました。幼児から90代の高齢者まで60名が出席、信仰共同体の証を為すことが出来ました。川口教会は1926年(大正15年)4月、川口市栄町にて林正雄牧師による開拓伝道から始まりました。2代目木村重雄牧師の時代に現地に会堂が献堂され、4代目笹田一成牧師の時代に現会堂が新築されました。3代目久世隆猪牧師の時代には保育園が開園され1984年まで継続されました。その伝統は教会学校の業に受け継がれ、教会教育の大きな礎となっています。教会学校の卒業生から献身者が与えられ、牧師として活躍しています。

働きから新しい教会員が与えられました。新しい100年に向けて福音の種を蒔き続けて参ります。皆様のご協力に感謝します。



七里教会

七里教会 佐々木佐余子

七里教会の創立者、故風間直次郎牧師は、元々、瓦屋職人でした。ある日、家の近くの小石川白山教会に仕事を頼まれて屋根に上がっていたところ、下から声を掛けられました。「風間さん、ちょっと降りて来なさい」。当時の風間先生は、その声に従って手を止め、下に降りました。その声の主は教会の牧師

先生であり、その時、その方から初めてイエスさまの福音を聞いたそうです。そして、祈禱会にも地下足袋のまま出て、祈りを合わせたということです。



地区委員会報告

2026年度第1回委員会

月日 3月20日(金・休)

会場 武蔵豊岡教会、

出席11人、陪席5人

●主な協議事項

一、地区総会議案の決議事項確認の件

補助書記より2026年度埼玉地区総会議案決議事項を確認した。

二、地区委員の役割担当の件

常設委員会、特設委員会、各部、自主活動委員会並びに嘱託の各担当者を割り振った。
以上、可決した。

2026年度第2回委員会

月日 5月19日(火)

会場 大宮教会、出席10人

●主な報告

一、地区内の教会・教師の報告

◎辞任

・小川教会(主) 末永廣(正)
・北本教会(代) 武田真治(正)
・所沢みくに教会

(主) 加藤久幸 (正)

(担) 加藤輝勢子(正)

・狭山教会(主) 中田正道(正)

・東大宮教会

(主) 久保島理恵(正)

◎就任

・小川教会

(代) 武井アイ子(正)

・北本教会(主) 柳田洋夫(正)

・所沢みくに教会

(主) 小手川到(正)

・東大宮教会

(主) 上田真由美(正)

・狭山教会

(代) 町田さとみ(正)

二、諸申請の件 久美愛教会

教団年金掛金互助

教会分2、915円/月

教師分2、970円/月

●主な協議事項

一、地区総会付託議案に関する件

①議案第10号…次回地区総会

会場及び日程の件

日時…2027年3月22日

(月) 午前9時30分～午後

3時30分

会場…検討中(後日・深谷教

会に決定)以上、可決した。

二、地区委員会主催集会等に関する件

①平和を求める8・15集会

日時…8月15日(土)

講師…ダニー・ネフセタイ氏

会場…埼玉新生教会

②小規模教会・伝道所懇談会

日時…11月3日(火) 13時

会場…鳩山伝道所

③新年合同礼拝

日時…2027年1月11日

(月・休)3区合同で開催。

会場…聖学院大学チャペル

④信教の自由を求める2・11集会

日時…2027年2月11日

(木・休) 14時～16時

会場…大宮教会

講師…交渉中(後日・大友英

樹牧師に決定)

⑤地区総会協議会日程、会場に関する件

日時…2027年2月11日

(木・休) 16時30分から、

2・11集会に続けて開催

する。

以上、各集会の他の詳細は四役が調整すること可決した。

三、地区委員会日程及び会場等に関する件

第3回…7月3日(金)

第4回…9月4日(金)

第5回…11月10日(火)

第6回…1月12日(火)

第7回…2月16日(火)

会場は大宮教会・上尾合同

教会・埼玉新生教会を持回

りとする。以上、可決した。

四、「埼玉地区災害対応要綱」

訂正の件

インターファックスを廃止

したので文言を削除する。

以上、可決した。

2026年度第3回委員会

月日 7月3日(金)

会場 上尾合同教会、出席11人

●主な報告

一、地区内の教会・教師の報告

◎就任式執行

・6月14日(日) 北本教会

(主) 柳田洋夫(正)

・6月28日(日) 東大宮教会

(主) 上田真由美(正)

・7月26日(日)

所沢みくに教会

(主) 小手川到(正)

二、諸申請の件 東松山教会

教団年金掛金互助

教会分2、915円/月

教師分2、970円/月

上尾使徒教会 伝道資金(教

区教会協力費・集会)5万円

三、書記・補助書記報告

◎2026年度「埼玉地区各委

員会各部組織表」は地区月

報への掲載をもって委嘱状

とする。

◎教会記録審査について確認。

日時…8月12日(水) 12時30分

場所…埼玉新生教会

地区委員と教師委員で行う。

●主な協議事項

一、教団伝道資金本年度運用案の件(今年度分25万円)

新年合同礼拝に7万円、川

越少年刑務所クリスマス行

事に3万円、教会伝道所伝道

支援金として5万円を3件

(候補は四役で検討)とする。

以上、可決した。

編集後記

地区総会から、2026年度が始まりました。57の教会・伝道所が、各委員会等が、イエスさまの導きをいただきながら、各々の歩みが進められています。新しく地区の教会において、各々の挨拶や、各委員会等の活動報告、2つの教会紹介から、主のお恵みを覚えます。主に感謝。
(町田さとみ)